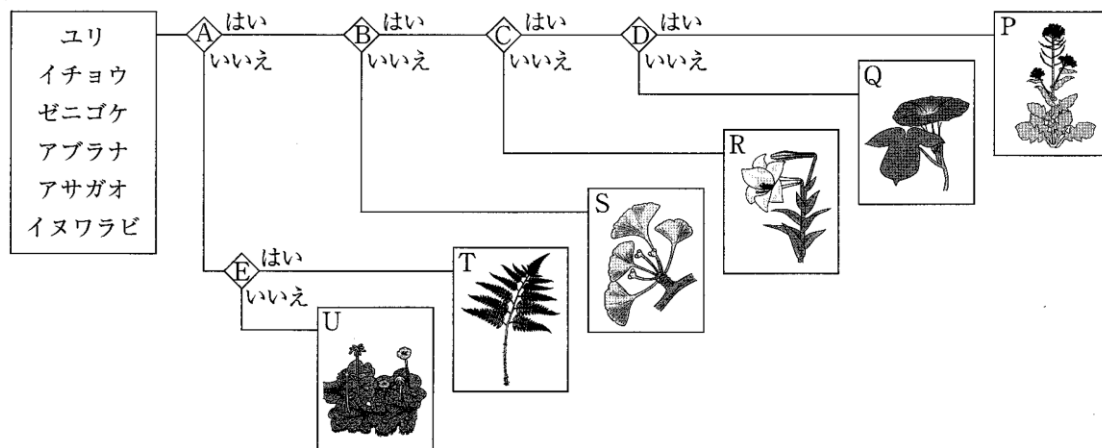


観点を表している。これについて、あとの問いに答えなさい。

図1



(1) 図1の観点Aは「種子をつくるか。」という観点であり、観点Bは「が子房の中にあるか。」という観点である。にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 図1の観点C, D, Eには、次のいずれかの観点があてはまる。観点C, D, Eにあてはまるものとして最も適当なものはどれか。それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 葉、茎、根の区別があるか。

イ 花弁が1枚1枚離れているか。

ウ 葉脈が網目状であるか。

(3) 図1の観点Cで、P・Qの植物のなかまとRの植物のなかまに分類するとき、次の各問いに答えなさい。

① P・Qの植物のなかまを何類というか。名称を答えなさい。

② Rの植物のなかまの茎を輪切りにしたときのようなようすや、根のようすについて説明したものはどれか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 茎の維管束は散らばっており、根はひげ根である。

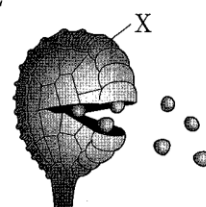
イ 茎の維管束は散らばっており、根は主根と側根からなっている。

ウ 茎の維管束は輪のように並んでおり、根はひげ根である。

エ 茎の維管束は輪のように並んでおり、根は主根と側根からなっている。

(4) 図2のXは、イヌワラビの葉の裏側に多数見られる袋のようなもの 図2
ようすを表したものである。①このつくりを何というか。名称を答えなさい。また、②次のうち、イヌワラビと同じなかまに分類される植物はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア イネ イ スギナ ウ ソテツ エ トウモロコシ



(1) Pのアブラナ、Qのアサガオ、Rのユリ、Sのイチョウは、花をさかせ、種子をつくってなかまをふやす種子植物である。種子植物は、胚珠が子房の中にある被子植物(P・Q・R)と、子房がなく胚珠がむき出しになっている裸子植物(S)に分類できる。

(2)(3) 被子植物は、子葉が2枚の双子葉類(P・Q)と子葉が1枚の単子葉類(R)に分類できる。さらに双子葉類には、花弁が1枚1枚離れている離弁花をさかせるもの(P)と花弁がくっついている合弁花をさかせるもの(Q)がある。単子葉類の葉脈は平行(平行脈)で、茎の維管束は散らばっており、根はひげ根である。双子葉類の葉脈は網目状(網状脈)で、茎の維管束は輪のように並んでおり、根は主根と側根からなっている。また、シダ植物には葉、茎、根の区別があるが、コケ植物には葉、茎、根の区別がない。

(1)	はいしめ 胚珠			
(2)	C	ウ	D	イ
		完答	E	ア
				2
①	そうしよう 双子葉			
(3)				類
②	ア			
				4
(4)	①	ほうし 胞子のう	②	イ
				完答